

幌延深地層研究センターの状況

1. 研究坑道掘削工事関係

(1) 作業状況

立坑掘削作業

- ・ 東立坑(掘削深度 380.0m):維持管理
- ・ 換気立坑(掘削深度 380.0m):維持管理
- ・ 西立坑(掘削深度 365.0m):維持管理

水平坑道掘削作業

- ・ 深度 140m調査坑道(掘削長 186.1m):維持管理
- ・ 深度 250m調査坑道(掘削長 190.6m):維持管理
- ・ 深度 350m調査坑道(掘削長 757.1m):維持管理

2. 調査研究関係

(1) 幌延深地層研究計画

ボーリング孔を用いた地下水長期モニタリング

- ・ 水圧モニタリング:継続実施(HDB-2,3,5,6,7,9 孔 PB-V01 孔)

高精度傾斜計を用いた地盤挙動のモニタリング

- ・ 高精度傾斜計による計測:継続実施

深度 140m 調査坑道における調査研究

- ・ 地球化学モニタリング:継続実施
- ・ 水平坑道掘削影響試験:継続実施

深度 250m 調査坑道における調査研究

- ・ 地震動観測:継続実施
- ・ 水平坑道掘削影響試験:継続実施

深度 350m 調査坑道における調査研究

- ・ 掘削影響試験:継続実施
- ・ 水圧・水質モニタリング:継続実施
- ・ 人工バリア性能確認試験:人工バリア性能確認試験の逸水対策のグラウト
施工(6/4~)
- ・ 水平坑道掘削影響試験:継続実施

光ファイバー式変位計による岩盤変位計測:継続実施

低アルカリ性セメント系材料の施工・影響評価試験:継続実施

(2) 共同研究

地層の研究に関する研究協力協定(幌延地圏環境研究所)

地下施設建設時の坑道掘削影響領域の調査技術に関する研究(電中研)

搬送定置・回収技術の実証的検討に関する研究(原環センター):埋め戻し材の

除去試験(上部開放部:6/28~7/22)

地下水中の微量元素と有機物を対象とした地球化学研究(京都大学、東北大学)

地下水中の溶存有機物の分画および特性評価に関する研究(国立環境研究所)
スパーモデルとカルマンフィルターを用いた弾性波トモグラフィ解析手法の研究(東京工業大学、サンコーコンサルタント)
岩盤の水理・化学・生物連成現象に関わる研究(産総研)

(3) 受託研究

ニアフィールドシステム評価確証技術開発(エネ庁)

岩盤中地下水流動評価技術高度化開発(エネ庁)

地層処分施設閉鎖技術確証試験(エネ庁): トモグラフィ調査を実施(7/17~23)

3. その他

・特になし

【今後の予定 (7/27~8/2)】

1. 研究坑道掘削工事関係

(1) 作業状況

立坑掘削作業

・ 東立坑(掘削深度 380.0m): 維持管理

・ 換気立坑(掘削深度 380.0m): 維持管理

・ 西立坑(掘削深度 365.0m): 維持管理

水平坑道掘削作業

・ 深度 140m 調査坑道(掘削長 186.1m): 維持管理

・ 深度 250m 調査坑道(掘削長 190.6m): 維持管理

・ 深度 350m 調査坑道(掘削長 757.1m): 維持管理

2. 調査研究関係

(今後新たに発生する現地調査・現場作業のみ記載、モニタリング関係を除く)

・特になし

3. その他

・おもしろ科学館 2019 in ほろのべ(7/27~28)

・施設見学会(7/28)

以 上